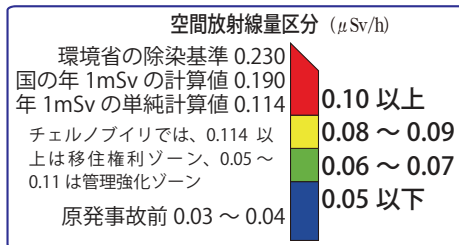


測定公園リスト(2016年4月～5月測定)

頁	区	公園名	空間線量	測定日	頁	区	公園名	空間線量	測定日
2	西区	三橋総合公園	0.053	4/23	10	浦和区	北浦和公園	0.047	4/3
3	北区	番場公園	0.054	4/23			調公園	0.057	4/3
		見沼グリーンセンター (市民の森)	0.056	5/28・29			常盤公園	0.046	4/3
4		大宮公園	0.045	5/13	11	南区	浦和中央公園	0.043	4/3
5	大宮区	大宮第2公園	0.054	5/13・20			別所沼公園	0.047	4/16
		大宮第3公園	0.057	5/20	13	緑区	見沼自然公園	0.050	5/6
6	見沼区	七里総合公園	0.045	5/20	14		大崎公園	0.048	5/6
7	中央区	与野公園	0.047	4/16			さぎ山記念公園	0.054	5/6
	北区	きたまちしましま公園	0.053	4/23	13	岩槻区	岩槻城址公園	0.045	4/22
8	桜区	秋ヶ瀬公園	0.052	5/3			岩槻文化公園	0.054	4/22
9		荒川彩湖公園	0.049	5/3	14		諏訪公園	0.042	4/22

- ◆空間線量は地上5cm高の測定平均値。単位はマイクロシーベルト毎時(μSv/h)。
- ◆GPS連動のシンチレーション式の放射線計HSFを用いて、徒歩で移動しながら地上高5cmの空間線量を測定しました。
- ◆任意の場所、または、測定中0.1μSv/h以上にセットしたアラームが鳴った場所では、地上高5cm、50cmを定点測定しました。定点測定で自治体の除染基準を上回る空間線量を検出した場合は、直ちに通報、除染をお願いしました。
- ◆移動測定の結果は、空間線量に応じて右の囲みの色●●●●で、地図中表示しました。



HSF市民測定所・深谷について

子どもたちを放射線から守りたいと願う市民グループによって、2013年秋に設立されました。高性能なGPS連動型放射線測定器(HSF)を用いて、埼玉県の子どもの集まる場所を中心に、空間線量を測定し、これを見える形で公表します。

- ▶公開ホームページ：<http://hsfnet.jimdo.com/>
- ◆発行：HSF市民測定所・深谷
- ◆連絡先：電話 090-9829-8558 (小泉)
- ◆メール：hsf.fukaya@gmail.com
- ◆配布：3.11市民ネット深谷
- ◆ホームページ：<http://fukaya311.jimdo.com/>



非売品

公園放射線 MAP 8

2016/4 - 5 さいたま市



2016年8月1日現在、福島第1原発事故で放出された放射性物質セシウムの52.4%が環境中に残っています。これが25%になるのは2041年です。

HSF 放射線見える化プロジェクト埼玉

《森の中を歩こう 石敷きの歩道や広場は自然放射線が出る》



大宮公園は第1～第3まである巨大な公園で、測定には3日間かかりました。

《第1公園》歴史を感じさせる巨木の森です。石敷きの広場や通路は自然放射線が0.1 $\mu\text{Sv/h}$ 以上となり、測定していません。児童遊具場、動物園、芝生や土の部分は0.05 $\mu\text{Sv/h}$ 以下の低線量でした。

《第2公園》スポーツ施設は測定していません。ちびっこ広場は問題なし。全面がアスファルトで覆われた多目的広場の東端で1 $\mu\text{Sv/h}$ を超えるホットスポットを発見。現在は除染済みですが、まだ0.1 $\mu\text{Sv/h}$ 以上ありますので、

注意が必要です。遊水池を囲んだ芝生広場は低線量で安心スポットです。《第3公園》芝生広場のきれいな公園です。芝生の上は低空間線量。アスファルト通路の縁でやや高い空間線量が測定されました。



1 児童遊具場 (砂・土)



2 自由広場 中央 (土・草)



3 埼玉百年の森 (落ち葉・土)



4 ちびっこ広場 スベリ台 (砂)

測定日：2016年5月13日(土) 10:30～14:50 晴れ 南東の風 1m

《多目的広場で1 $\mu\text{Sv/h}$ 超のホットスポット発見、県は除染》



5 南の多目的広場 (土・草) 6 多目的広場2 駐車場 (土・草)

【ホットスポットの発見と除染】広い駐車場の縁にたまる土を5年間にわたって積み上げた結果ですが、1 $\mu\text{Sv/h}$ は埼玉では考えられない数値です。通報後、公園管理事務所は、誠実かつ迅速に除染を完了、現在は除染基準値以下の線量に下がっています。

国の除染指針に沿って、表土を深く削り、別の土で被覆。除染基準は0.23 $\mu\text{Sv/h}$ で実施。



7 芝生広場中央 (芝生・イワダレ草)

2016年5月20日(金) 13:00～17:20 曇りとときどき晴れ 北東の風3m /一部 5月13日・6月8日に測定

人工放射能と自然放射能 原発事故で放出されたのは人工放射能、自然界にもともと存在しているものが自然放射能です。みかげ石等の石材・レンガ・碎石の上で計測される高い放射線はほぼ自然放射線と考えられますが、土や芝生の場合はセシウムの濃縮の可能性が高いようです。HSFは、スペクトル表示で簡易的にセシウムの有無がわかります。

自然放射線なら安全か? 自然界には、もともと放射性物質が存在します。野菜や果物、豆類に多く含まれるカリウム40が有名ですが、みかげ石や素焼きレンガの一部からはウラン由来の放射線が測定されます。元京大助教の今西哲二さんは「自然放射線は危ないものであり、それに加えて人工放射線も浴びていると考えるのが妥当」と述べています。

《人の手が入らない草地も線量が低い》



《全体的には低レベルだが、気になる場所もある》

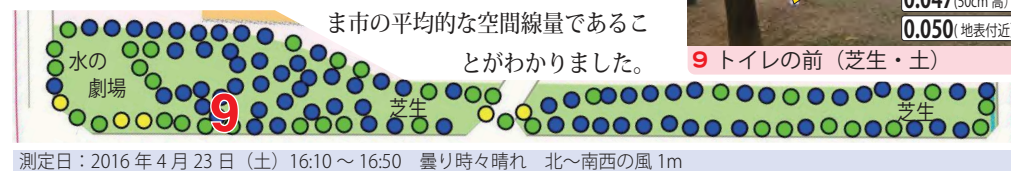
17号バイパス沿いにある中規模な公園です。バラ園で有名ですが、それ以外にも子ども遊具が充実しており、神社や池、疎林地帯などもあります。小さな子どもからお年寄りまで利用者の多い公園です。移動測定の空間線量の平均は、さいたま市の平均的な数値で心配ないレベルでした。気になるところは2箇所でした。まずは、バラ園と子ども遊具広場の間のトイレ周り、ここは屋根から雨水がダイレクトに落ちる構造です。次に、南駐車場から園内に入った辺り、水はけが悪いのか黒い土砂がうっすらと積もった場所がありました。ともに若干高い値を示しました。福島原発事故由来の放射性核種セシウム137が確認できます。国の示す除染レベルではありませんが、子どもたちは、近づかせたくない場所です。バラ園は通路も含めて低い値でした。



北区 きたまちしましま公園

移動測定平均 0.053 $\mu\text{Sv/h}$

商業施設に隣接する新しい都市公園ですが、たくさんの子どもの遊んでいました。石敷き部分が多く、それを避けて芝生の上だけを測定しました。石敷き部分からはそれなりの自然放射線が出ています。都市部の人工的空間といっても極端な低線量でもなく、さいたま市の平均的な空間線量であることがわかりました。



ホットスポットとクールスポット 環境省は、空間線量率 0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以上を除染基準とし、原発事故前を 0.04 $\mu\text{Sv/h}$ としています。本冊子はこれに基づき、0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以上の場所をホットスポット、0.04 $\mu\text{Sv/h}$ 以下の場所をクールスポットとします。空間線量率は測定する高さによって値が変わりますが、本冊子は 5cm 高での測定を基準とします。

ホットスポットの見つかる場所 広いアスファルトの駐車場の縁、雨水がたまりやすい場所でよく見つかります。たいてい粘土質の土が溜まっています。また排水のU字溝の底の汚泥をさらって積み上げた場所。草地や芝地でも、中央よりは縁、全体的に土地が低くなっている所で見つかることがあります。大木の根元でもときどき見つかります。

《 広大な秋ヶ瀬公園 空間線量はどこも低かった 》



測定日：2016年5月3日(火) 10:20～14:30 曇り 南の風4～6m

ホットスポットを発見したら 公園などで0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以上の場所を見つけたら、すぐに自治体に通報します。通常は0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以上なら除染してくれます。秩父市や加須市は1 $\mu\text{Sv/h}$ 以上ですが、多くの自治体は地表付近0.23 $\mu\text{Sv/h}$ の線量で除染します。自宅が発見した場合、理不尽な話ですが、自己責任・自己負担で除染するしかないようです。

《 芝生でのんびり遊べる公園 空間線量も安心レベル 》



測定日：2016年5月3日(火) 15:00～16:50 曇り 南の風4～6m

自宅を除染する 除染したい場所を、放射線計で測定しながら、納得できる線量になるまで土を削ります。深さは5～10cm程度？ 厚手のビニール袋(大)を二重にして、これに汚染土を入れます。ビニール袋の汚染土はそのまま、穴を掘って30cm以上の深さに埋めます。このとき出た土の一部は除染部分に覆土し、残りは汚染土の埋設に使います。

秋ヶ瀬公園に続く隣の大きな公園です。測定時には大風が吹いており、森におおわれた秋ヶ瀬公園ではそれがわかりませんでした。それでも、非常に多くの子ども連れの家族が遊んでいました。この公園に比べると、休日の秋ヶ瀬公園はスポーツとBBQ専門公園のようでしたが、荒川彩湖公園はごくごく普通の総合公園で、人々も普通に遊んでいます。

測定に関しては、秋ヶ瀬公園とほぼ同じで、どこも低い空間線量です。舗装道路の縁、土と接する部分で少し高い線量を計測しましたが、いずれも0.1 $\mu\text{Sv/h}$ 未滿。遊具広場、芝生広場、グラウンドどこも問題ありません。また、子どもたちが虫取りをしている土手も草をかき分け測定しましたが、これも問題ありませんでした。

なお、スポーツ施設側は測定していません。

《全体的には安心レベル 風雨でたまる土砂にセシウムが》

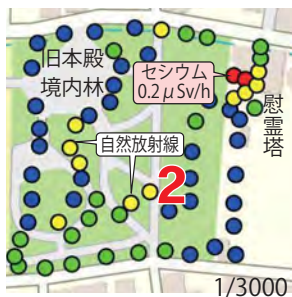
北浦和駅西口から近く、県立近代美術館のある公園として馴染み深い場所です。南側は、浦和伝統文化館「恭慶館」などのある浦和北公園と隣接しています。ともに移動平均の空間線量は心配ないレベルでした。ただ、浦和北公園防災倉庫の西側に、放射性セシウム 137 がはっきり確認できる土砂だまりがありました。



1 児童広場砂場(砂)



調(つきのみや)公園



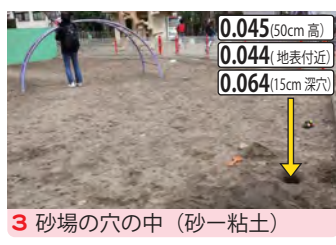
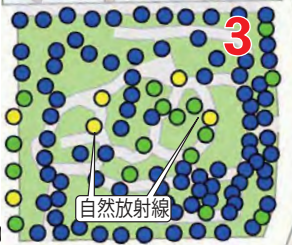
十二日町で有名な調神社に隣接している公園です。この日は桜が満開、花見客で大変賑わっていました。測定では、敷石などに花崗岩を多用しているため自然放射線を多く検出しました。浦和ふるさと亭と慰霊塔の間の隙間で瞬間的には 0.2 $\mu\text{Sv/h}$ を超える高い値を記録しましたが、管理人の方に説明して清掃(除染)をお願いしました。



2 砂場(砂)

常盤公園

浦和区の住宅地にある古い公園です。窪地や築山など高低差が付けられており、南側はレンガ塀が続きます。敷石が多用されていて自然放射線が確認できますが、子ども広場は心配ないレベルでした。



3 砂場の穴の中(砂-粘土)

北浦和・調・常盤・浦和中央 測定日: 2015年4月3日(日) 10:30~15:30 曇り 南の風 2.0m

風雨で移動するセシウム セシウムは微細な土と結合した状態で風雨によって移動します。2016年8月現在、セシウムは3.11原発事故当時の52%に減っています。広い駐車場の隅の排水の悪い場所では、雨が降るたびに放射線量が高くなる傾向にあります。セシウムは、中央より隅、高い所より低い所、乾燥した所より湿った場所で濃縮されます。

《子ども広場は安心、うなこ像はどこへ?》



別所沼が大半を占める感じですが、その周りには趣向を凝らした施設やスペースが配置されています。埼京線の中浦和駅から近く、武蔵浦和駅からは桜並木の遊歩道が伸びています。市街地には駐車場もありますので、利用者が多いのも頷けます。

移動測定の空間線量の平均は、さいたま市の平均的な数値で心配ないレベルです。北側にある子ども広場は、遊具が豊富で、この日も大勢の子ども連れで賑わっていましたがどれも低い値でした。気になったところは、北側のトイレ2箇所の周り、東南の隅で腐葉土を作っている場所です。ともにセシウムの濃縮が見られ、若干高い数値を記録、除染レベル

以下ですが、清掃が行き届いている分残念です。



4 北側の子ども遊具広場(土)



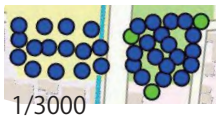
5 男性トイレ雨樋の下(砂利・土)



6 弁天島(土・枯葉)

測定日: 2016年4月16日(金) 11:00~13:00 晴れ 北北西の風 7.3m

浦和区 浦和中央公園



玉蔵院の南に隣接する小さな公園です。常盤公園で遊んでいた人のリクエストで追加しましたが、心配ないレベルでした。

年間1mSv 法律が定めた年間被ばく量の限度で、世界基準もこれです。日本政府はあれこれ数字を操作して、0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 以下なら大丈夫としています。単純に $1\text{mSv} \div 365 \text{日} \div 24 \text{時間} = 0.114 \mu\text{Sv/h}$ と計算し、当会はこれ以上の場所を「危険」と判断します。同じ被ばく量でも、子どもは大人の10倍も100倍も大きなダメージを受けます。

《芝生や土の地面のほうが空間線量は下がる》



109,000 m²の森と芝生の広大な公園です。子どもの遊具はありませんが、自然にふれあひながらピクニックや自然観察を楽しむ公園のようです。測定日には、大勢の小学生が校外活動に来ており、芝生広場では1年生から6年生までが班にわかれ、鬼ごっこやボール投げで遊び、お昼



1 のびのび広場外周 (草・土・小砂利)



2 のびのび広場 (芝生)

にはお弁当を広げていました。空間線量に関しても、芝生広場、樹間の遊歩道など、どこを測っても問題となる場所はありません。これだけ広い公園だと、自然の状態のままであったり、手入れがされていなかったりする場所も多くありますが、そうした場所もほとんどが心配ありません。地図中の●の場所は舗装された遊歩道や雨水が集まる窪地(写真1)で、こうしたところでは0.1 $\mu\text{Sv/h}$ 未満ですが、やや高い空間線量が測定されました。

除染基準 1m高 0.23 $\mu\text{Sv/h}$ 、5cm高 1 $\mu\text{Sv/h}$

さいたま市の除染基準は隣接する川口、上尾市の5cm高 0.23 $\mu\text{Sv/h}$ と比べると、非常に緩い基準です。市内の放射能汚染が小さかったことが幸いし、この緩い除染基準も大きな問題に発展しなかったようですが、大宮第2公園の例を見れば、市内の教育施設等の汚染状況がどうなのか、心配になります。

測定日: 2016年5月6日(金) 10:30~12:30 曇り 南の風 2m

土壌検査 土を食品のように検査し、放射線量はBq/kgで示されます。埼玉の平均は100~130Bq/kgと思われます。空間線量にはなかなか反映せず、5cm高 0.05 $\mu\text{Sv/h}$ で300Bq/kgという事例もありました。除染基準 0.23 $\mu\text{Sv/h}$ を超える場所で数千Bq/kg、大宮第2公園のホットスポット(P5)の除染前は20,000Bq/kg以上が予想されます。

《子供動物園も遊具広場も安心エリア》



子供動物園と大型遊具、水遊び場と、子どもが遊べる公園です。空間線量は園内どこも低線量、平均も0.048 $\mu\text{Sv/h}$ とさいたま市の平均以下で、安心して子供を遊ばせられます。子ども動物園内も問題ありません。写真5はじゃぶじゃぶ池の芝生地、ここは水はけの悪い場所でやや高い線量が計測されました。また、駐車場の東の縁、おそらく職員の手車を止めると思われる場所で0.1 $\mu\text{Sv/h}$ を上回る数値が計測されました。



3 ホンカモシカ舎の横 (土)



4 ユニバーサル遊具の下 (土)



5 じゃぶじゃぶ池のわき (草・土)

さぎ山記念公園

移動測定平均 0.054 $\mu\text{Sv/h}$

見沼自然公園の隣、こちらはかなり人工的に整備された公園です。測定時には子どもの姿もなく、池を囲んで釣りをを楽しむ年配の方が何人も見られました。

空間線量に関しては、隣の見沼自然公園とほぼ同じです。園内は石敷き等の舗装部分が多く、そうした場所は自然放射線の影響を受けるために、測定していません。芝生広場と子どもの遊ぶアスレチック広場などを念入りに測定しました。見沼自然公園に比べて、0.004 $\mu\text{Sv/h}$ 高いのは、園内の石材からの自然放射線の影響だと思われます。



6 アスレチック広場 (土)



大崎公園 測定日: 2016年5月6日(金) 13:40~15:20 曇り 南の風 2m
さぎ山記念公園 測定日: 2016年5月6日(金) 12:40~13:30 曇り 南の風 2m

薪ストーブの灰 薪ストーブの燃焼灰はセシウムを200倍以上に濃縮します。400Bq/kg以上の灰を畑に撒くことは禁じられています。薪(ペレット)ストーブユーザーは必ず、灰の検査をするべきです。2014年7月、当会が東松山市岩鼻公園で発見した1 $\mu\text{Sv/h}$ 超のホットスポットも、燃焼灰の不法投棄が原因であったと思われます。

《広い園内の空間線量は低く、ほぼ問題なし》



全体で 14500 m²、起伏に富み、広い園内には、子どもの遊び場、スポーツ施設、水のある景観と、いろいろと充実した総合公園です。ここは桜の名所としても有名だそうです。

さいたま市の北東部ということで、放射能の汚染も中央部と違うかもしれないと予想しました

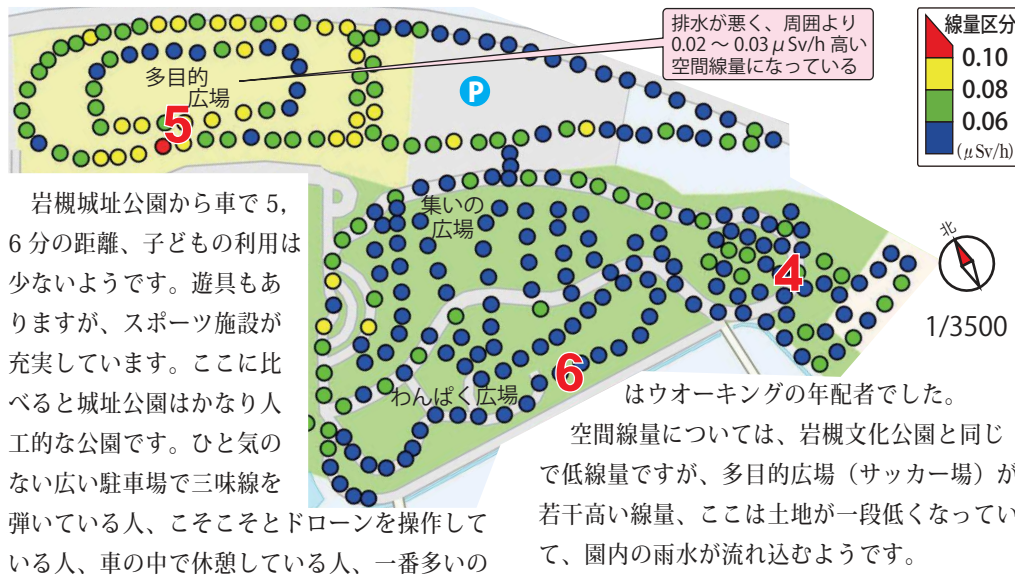
が、測定結果は、中央部とほぼ同じです。園内はどこも低線量で問題となる場所はありません。特に子どもの遊ぶ場所は清掃も行き届いており気持ち良く過ごせる公園でした。市民会館いわつきの裏手の小山の裾の通路わきに他に比べ若干線量が高めのところもありました。



1 ピクニック広場中央 (芝生) 2 わんぱく広場①(砂・土) 3 蓮池周回歩道の端 (土・草)

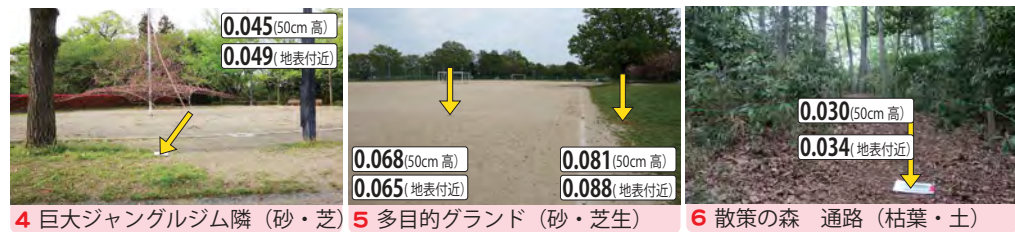
HSFについて GPS 連動のシンチレーション式放射線計です。移動しながら放射線を測定し、その測定値を GPS 情報とともに保存します。HSF は、正確な測定値を出すことが、環境省福島環境再生事務所の実証試験報告書で証明されました。また、グラフ表示によって、計測した値がセシウムか自然放射線かを簡易的に判断できます。

《わんぱく広場は安心レベル 多目的広場がやや高い》



岩槻城址公園から車で5、6分の距離、子どもの利用は少ないようです。遊具もありますが、スポーツ施設が充実しています。ここに比べると城址公園はかなり人工的な公園です。ひと気のない広い駐車場が三味線を弾いている人、こそこそとドローン进行操作している人、車の中で休憩している人、一番多いの

はウォーキングの年配者でした。空間線量については、岩槻文化公園と同じで低線量ですが、多目的広場(サッカー場)が若干高い線量、ここは土地が一段低くなっている、園内の雨水が流れ込むようです。



諏訪公園 移動平均 0.042 $\mu\text{Sv/h}$

諏訪神社に隣接する公園です。レトロな雰囲気のある地区公園です。周囲の住宅を見ても、子どもの気配はあまり感じられず、現在は主に年配の方の利用する公園のように思われます。

空間線量に関しては、神社の境内も含めて問題ありません。平均空間線量 0.042 $\mu\text{Sv/h}$ は調査したさいたま市の公園の中で最も低い値です。



7 遊具広場すべり台 (土・砂)

支援のお願い HSF 市民測定所・深谷は、放射能から子どもを守ることを目的に、市民有志によって設立されました。既存の団体とは一切関係なく、ボランティアと市民からの寄付で運営しております。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。
● ゆうちょ銀行：普通 10390-82989741 口座名：HSF 市民測定所・深谷(イチエスエフ市民測定所「ジョフカヤ」)